

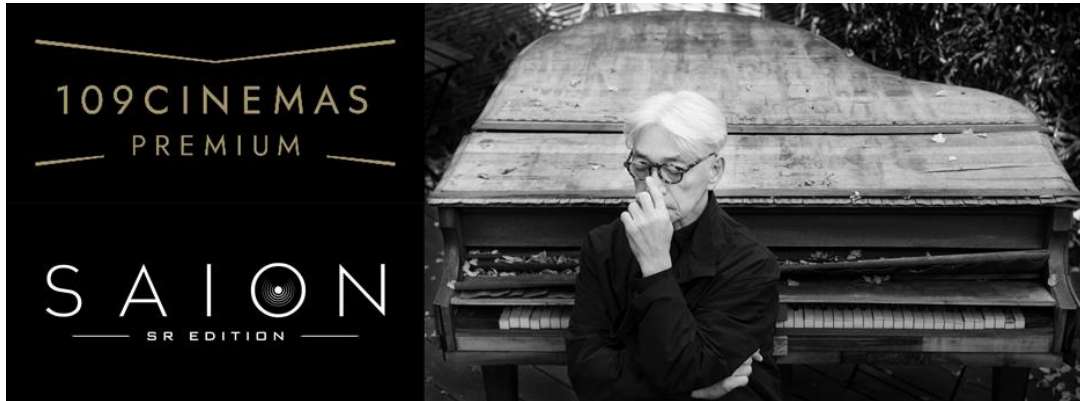
【2023年4月14日 OPEN！ 109シネマズプレミアム新宿】

シアター音響を世界的音楽家・坂本龍一氏が監修

「SAION -SR EDITION-」として全シアターに導入決定

株式会社東急レクリエーション(本社:東京都渋谷区、社長:菅野信三)は、2023年4月14日に開業を予定しております「東急歌舞伎町タワー」内にオープンする「109シネマズプレミアム新宿」の全シアターの音響を、日本人で唯一アカデミー賞®作曲賞を受賞した世界的音楽家・坂本龍一氏に監修いただくことを発表いたします。

さらに、施設内のラウンジなどで使用する複数の楽曲も、坂本氏が書き下ろします。



坂本龍一氏よりコメント

◆映画館やミラノ座・新宿への思い

60年代後半、僕は新宿の高校に通っていたので入学した当初から大きな好奇心をもって新宿を隈なく徘徊しました。

入学した4月には新宿中のJazz喫茶を訪ね歩いてお気に入りの店をいくつか決めて早速出入りし始める、制服制帽のまま。次に新宿中の映画館をチェックし、その上映傾向を調べる。人生であれほど映画をたくさん観たのもやはりこの高校生活の期間でした。

新宿で学んだものは僕を根本的に変えたと思います。60年代末は音楽、演劇、映画、文学、学問など、あらゆるものが劇的に変革された時期であり、その中心が新宿だったのです。

◆このプロジェクトに参画した理由

僕が信頼する音響システムを提供する会社を運営する友人からこのプロジェクトに声をかけられました。彼らと一緒に本当のクオリティーの高い音を提供する映画館にできるだろうと思い、監修者として参加することにしたのです。また、常に最高の音響作りを目指す彼らを指名した109シネマズさんの姿勢にも共感しました。音響システムはスクリーンの後ろにスピーカーを組んでいますが、高性能サウンドシステムと高度なチューニング技術により、スクリーンの存在を感じない、「曇りのない音」を目指し設計されています。スピーカーはもちろん、オーディオケーブルやアンプなど細部にこだわり、最上の音響を楽しむ劇場ができたかと自負しています。

◆映画文化・フィルム映写機への思い

109シネマズのみなさんと意見交換をした際に、「日本ではフィルムの上映ができる映画館がほとんどなくなっている、いまこそ、改めてフィルム上映のできる映画館をつくってほしい」と提案したことを真剣に受け止めていただき、チームのみなさんはすぐに 35mm 映写機を調達してくれました。フィルム映画の文化を継承するためにフィルム上映も可能なシアターがここに用意されています。本物の映画愛にあふれた方々が作り上げた劇場です。

極限までリアルな音を追求！「SAION -SR EDITION-」とは

◆“最上の音”のさらに上を行く音響システム

「SAION -SR EDITION-」とは、最上の音体験が可能な109シネマズオリジナル規格のプレミアムサウンドシアター「SAION」の良さをそのままに、坂本氏監修の下で設計された、より極限までリアルな音を追求した音響システムです。

◆プレミアムサウンドシアター「SAION」

「SAION」は、映画はもちろん、ライブや演劇・さらにはスポーツまで多彩な音表現を可能にしたプレミアムサウンドシアターです。先進の音響テクノロジーで理想の音をチューニングし、各コンテンツの魅力を最大限に引き出すことができます。

【プレミアムサウンドシアター「SAION」の詳細はこちら】

<https://109cinemas.net/news/saion/>



◆スクリーンの存在を感じさせないサウンド

細部にまでこだわったカスタムスピーカーや最高品質のアンプなどから構成されるサウンドシステムは、そこにスクリーンがあることを忘れさせるような、リアルで自然なサウンドを生み出します。

色付けの無い高精細な音を生み出すカスタムスピーカー

- ・高域にベリリウム、中域にカーボンファイバー、低域に特殊ペーパーコーンを使用した究極の3ウェイメインスピーカーシステム
- ・バンドパスにバックロード方式を加えた究極のハイブリッド・サブウーハーシステム
- ・高域に 8 つのシルクドームをラインアレー状に配置、低域に特殊ペーパーコーンを使用した究極の同軸 2 ウェイ・サラウンドスピーカーシステム

Linea Research の日本初導入最高品質のパワーアンプ

・クラス D の限界を超えた現存のパワーアンプで最も音質の良いものを選択。圧倒的な増幅感と比類なき情報量がスピーカーのポテンシャルを最大限に発揮させます。

特注のスピーカーケーブル

・パワーアンプとスピーカーをつなぐケーブルにも最大限こだわり、パワーアンプで増幅された音声情報が最もクリーンな状態でスピーカーに届く線材、太さ、芯数を調査、スペシャルなケーブルが誕生。

このようにしてお客様の耳に届く「色付けの無い」「自然な」再生音は、スピーカーとスクリーンの存在を消し去り、まるで、その場にいるような深い没入体験を実現します。

109シネマズプレミアム新宿とは

東京都新宿区歌舞伎町に2023年4月14日開業予定の「東急歌舞伎町タワー」9F・10Fにオープンする“109シネマズ”の新ブランドです。全席プレミアムシートで、全シアターにハイスペックな映写・音響設備を備えています。また、35mm フィルムの上映が可能なシアターもご用意しました。これは、坂本氏からディスカッションの中で頂いたアイデアを実現させたものです。

上質な鑑賞環境とおもてなしを提供し、これまでの常識を覆す“感性を開く映画館”として、非日常世界への没入体験をお届けします。



坂本 龍一 Ryuichi Sakamoto プロフィール

1952年、東京都生まれ。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年『YMO』を結成。散開後も多方面で活躍。映画『戦場のメリークリスマス』で英国アカデミー賞を、映画『ラストエンペラー』の音楽ではアカデミーオリジナル音楽作曲賞、グラミー賞、他を受賞。常に革新的なサウンドを追求する姿勢は世界的評価を得ている。環境や平和問題への言及も多く、森林保全団体「more trees」の創設、「東北ユースオーケストラ」を立ち上げるなど音楽を通じた東北地方太平洋沖地震被災者支援活動も行っている。主な映画音楽の作品に、『シェルタリング・スカイ』（1990）、『ハイヒール』（1990）、『リトル・ブッダ』（1993）、『ファム・ファタール』（2002）、『トニー滝谷』（2005）、『一命』（2011）、『レヴェナント：蘇えりし者』（2015）、『怒り』（2016）、『天命の城』（2017）、『あなたの顔』（2018）、『MINAMATA—ミナマター』（2020）などがある。

リンク一覧

- ・109シネマズプレミアム新宿 HP: <https://109cinemas.net/premiumshinjuku/>
- ・109シネマズプレミアム新宿 Twitter: https://twitter.com/109_PREMIUM_SJ